

2018年
6月中旬
発売予定

鎌倉・大船で話題の古書を売る立ち飲み屋
「ヒグラシ文庫」店主、初のレシピエッセイ集

わが日常茶飯—立ち飲み屋「ヒグラシ文庫」店主の馳走帳—

中原蒼二 著

本体:1,481円+税

四六判並製 176P

ヒグラシ文庫定番ポテトサラダや正統レモンサワーの作り方をはじめ、著者が思い出の酒場や小説からインスピレーションを得たオリジナルレシピとエッセイ集。本文中に、「檀一雄と江原恵から教わったことは、権威に頼らなくとも、料理本なんかを書いてある通りに作らなくても、それはそれなりに旨いよ、自分が食べるものは、それでいいんだ、ということであった。」とあるように、職人修行をせずとも根強いファンを持つ中原氏の作り上げる味の所以と、そのセンスがどのように育まれたかのヒントを記す1冊。レシピの写真は、先般、神奈川県三浦市を舞台にした初めての写真集「南端」を刊行したばかり、新進気鋭の写真家・有高唯之氏が担当。



ISBN978-4-9908459-8-8
C0095 ¥1481E

著者と写真家紹介

著者…中原蒼二 (Souji Nakahara)

1949年生まれ、東京出身。現在、鎌倉と逗子をわける谷戸の陋屋に在住。演劇・舞踏のプロデュース多数。都市文化施設計画のプロデュース多数。北九州角打ち文化研究会関東支部長。北九州市の情報誌『雲のうえ』立ち上げに携わる。「水族館劇場」制作代表。立ち飲み屋「ヒグラシ文庫」(鎌倉・大船)主宰。

写真…有高唯之 (Tadayuki Aritaka)

1971年生まれ、石川県金沢市出身。逗子に在住。写真家。1998年よりポートレートを中心にカルチャー誌で写真家としてキャリアをスタートし、広告、CDジャケット、書籍等で独自の感性で捉えた作品を発表している。ライフワークとして世界各地の皆既日蝕の撮影を続けながら、東京から逗子に拠点を移してからは三浦半島をテーマに撮影を行なっている。2018年5月には処女作となる三浦に生きる人のポートレート写真集「南端」を上梓。



大竹聡さん(フリーライター)

「(中原さんには)私の嗜好が見透かされていて驚く。三十年連れ添った私の妻でさえ知らない私のもっとも柔らかいところを知られてしまっている感がある。」



牧野伊三夫さん(画家)

「さっぱりとした上品な味の東坡肉も、ほうれん草入りの手打ち麺のスパゲティも本当においしかった。」



遠藤哲夫さん(「エンテツさん」こと大衆食堂の詩人)

「文章の大家だろうが、料理の大先生だろうが、このような本は書けない。生活の中に血肉化した料理文化を感じる。」



南陀楼綾繁さん(フリーライター・編集者)

「自由であることは楽しいが、苦しくもある。だから、中原さんの文章も、彼がつくるヒグラシ文庫の料理も美味しくて、ちょっとせつない味がする。」

注文カード	流通センター 取扱品 取扱品 FAX 03・3235・6182 貴店名	ご担当者様	発行所 星羊社 (編集部)	TEL: 045-315-6416 FAX: 045-345-4696	甲
			書名・著者名 わが日常茶飯 —立ち飲み屋「ヒグラシ文庫」店主の馳走帳— 中原蒼二 著 ISBN978-4-9908459-8-8 C0095 ¥1481E		

株式会社 星羊社 営業担当: 星山

〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町 1-3-1 イセビル 402

TEL: 045-315-6416 FAX: 045-345-4696

※返品ご希望の場合は地方小出版流通センターへFAXで返品依頼書をご送付ください。ご不明点は星羊社までお問い合わせください。